

広島神楽

定期公演 へようこそ

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。

- ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
 - (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
 - (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
 - (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※フラッシュの使用、三脚を使用**しての撮影は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
- 以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。

撮影エリア

フラッシュを使用する撮影、三脚を使用する撮影、撮影された画像の営利目的での複製および何らかの動画公開は禁止させていただきます

スマホや携帯で撮った動画や写真をSNSにどんどんアップして

広島神楽の魅力を発信してください!!

6月5日のタイムスケジュール
出演: 亀山神楽団(広島市)
19:00～開演
19:05～第一幕『戻り橋』
(およそ45分)
～幕間(休憩)～
20:05～第二幕『葛城山』
(およそ40分)
20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

かめやまかぐらだん

亀山神楽団プロフィール ~広島市安佐北区~

亀山神楽団は昭和47年亀山地区において数名の神楽経験者により結成され、亀山神楽同好会として発足しました。昭和61年名称を亀山神楽団と改め、現在20数名で活動しております。

主な活動は地域の四季の祭りへの奉納神楽、各種イベントへの出演、福祉施設の慰問等です。これからも地域の行事に積極的に参加し、神楽を愛し、舞えることを喜び、伝統芸能の継承保存につとめ、地域の皆さんに愛される神楽団を目指し、団員一同精進してまいります。今後とも温かいご声援とご支援をよろしくお願い申し上げます。

第一幕『戻り橋』 もどりばし

大江山に棲む酒呑童子の手下・茨木童子は夜毎、都人に化相して京の都は戻り橋あたりに出沒して都民たちに災いをかけているため、源頼光に仕える四天王の一人、渡辺綱が宿命を受けて征伐に向かいます。

茨木童子は老女に化相し通りかかった傘売りの善兵衛を取り食らい、渡辺綱と茨木童子の合戦が始まりますが、そこに現れた酒呑童子の妖術にかかり綱は倒れてしまいます。

そこへ岩清水の神の御幣を持った坂田金時が加勢し、妖術を解かれた渡辺綱は再度合戦の末、茨木童子の左の腕を切り落としましたが、酒呑童子の虚空飛天の妖術で逃げられてしまうという物語です。

大太鼓	—	平岡	秀典
小太鼓	—	坂本	葵
手打鉦	—	坂本	沙弥
笛	—	大町	美咲

渡辺綱	—	山本	啓太
茨木童子化身	—	森本	健二
傘売り善兵衛	—	上駄	智明
茨木童子	—	坂本	紘秋
酒呑童子	—	岡崎	雅也
坂田金時	—	中村	太智

第二幕『葛城山』 かつらぎざん

大和国・葛城山に古くから住んでいたという土蜘蛛の精魂は、源頼光が重い病になったと聞き、頼光の侍女・胡蝶を取り喰らい胡蝶の姿へと化身します。

典薬守からもらい受けた薬を毒薬に替え、頼光に飲ませ襲い掛かろうとした時、胡蝶の正体に気付いた頼光は、枕元にあった源家の宝刀「膝丸」で斬りつけると土蜘蛛の精魂は手傷を追い、葛城山へと逃げ帰ります。

頼光はその太刀を「蜘蛛斬丸」と改めて四天王に授け、葛城山の土蜘蛛征伐を命じます。四天王は土蜘蛛の流血のあとを追って葛城山にたどり着き、土蜘蛛の妖術に苦戦しながらも、激闘の末めでたく土蜘蛛を退治します。

大太鼓	—	岡崎	雅也
小太鼓	—	坂本	葵
手打鉦	—	大町	美咲
笛	—	坂本	沙弥

源頼光	—	上駄	智明
卜部末武	—	山本	啓太
碓井貞光	—	早田	紫音
胡蝶	—	坂本	紘秋
土蜘蛛	—	平岡	秀典

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。
※助成/一般社団法人地域創造